

みなしご通信



毛玉を歯に：クソ獣医のTNR

「あこの手術をしました」と書かれた猫がTNR一斉に来ました。は？あこの手術をしたときに去勢してない？ワクチンも打ってない？何がしたいん？その子を見ると歯に毛玉。お世話をしている人が言うには「どうやっても毛玉が取れない」たしかに取れん！あこの手術から3ヶ月も毛玉を歯に挟んだままでした。調べてみると毛玉も一緒に縫つと



る！なんでこんなヤツが獣医なん？しかも反対側の歯は腐ったまま抜いてない！抜糸して毛玉も取りました。ワイヤーとナイロン糸でズレた下顎を3ヶ月も留めていてズレたまま！伸びたキバは邪魔しとるし：長いキバと腐った歯は抜きました。私は毎回医療用ワイヤーを抜いたら触りますが痛いよ！チクチクするよ！まあ今回は避妊ではなく下顎矯



正だからワイヤーを使うのは妥当ですが矯正しなきゃ固定の意味がなかる？しかも腐敗臭がするからお世話をしている人に術後どんな抗生剤を飲ませていたのか聞いてみたら「野良猫は抗生剤は要らない」と言われ何も飲ませていないそう。このワイヤーも野良猫は取らなくていいんだぞう。抗生剤は要らん？何の根拠？ホンマにクソじゃ！もうね腹が立ちすぎて今すぐそいつの病院へ行つて4、5発殴つて鼻くそつけてやりたい！ワイヤーも取り、スッキリしてもらいました。

それにしてもこんなクソ人間でも開業できる獣医ってどう？こんな世界じゃからこないだまでセンターで猫を殺しとつた女医が腕もないのに出張TNRするわけよ！いや〜私繁殖屋よりクソな獣医の方が嫌いかも。ハッキリ言つて大嫌いじゃ！繁殖屋は見るから悪そうだが獣医はそうじゃないじゃん。ニコニコ素敵な笑顔をふりまきながら猫ちゃんの

ためよ、な〜んて言いながら汚いことをするスキマ産業獣医：ありムカつくクソ女め！ひとつ標語ができました。【気をつけよう！暗い夜道とクソ獣医！】

理想の獣医師像

私が追い求める理想の獣

医療は《病気ではなくその子を見る》言葉を発せない動物に対し不確かなことであ〜だ〜検査しまくるのは動物福祉の観点から間違ふと思うのです。犬や猫を飼っている人は普段からその子の様子をしっかりと見て《いつもと違う場所》に居たり《いつもと違う態度》を取ったりしたらさらに注意深く見て、やっぱり怪しいと思うなら速やかに動物病院へ連れて行き、かかりつけの獣医師に話してしかるべき処置《動物に優しい処置》をしてもらつてほしいなあと思います。

万が一かかりつけ獣医が飼い主の話も聞かず俺様のみたてに狂いはない頭の固いタイプならそもそも

人としてアウト！飼い主は自分んちの子を守る義務があるのでそこはサッサと病院を変えてOK！

子猫は腹の中に

シャ〜シャ〜子猫が捕獲器で来ました。いくらシャ〜シャ〜言うても子猫ですから、私は普通に素手で捕獲器から出してお腹にべつたり子猫の体をくっつけます。そして眉間からヒタイにかけて指で《強め》に撫でます。そしたらおとなしくなります。これが路上で捕まえるとしたら私はシャ〜シャ〜言つてる子猫を腹の中(Tシャツの中)に入れます。何度も言つていま





カツの新たな芸

カツが夜なのに寝たふりしてて、ハチミツの時間も寝たまま舐める技を習得しました(笑)お皿にハチミツが入ってるのがわかりますか?ハチミツの量はおたまたま1杯ぐらい。そのまま舐め

すが私は長年《腹の中に入れる》方法で路上の子猫を保護してきました。その際お腹を咬まれたことは一度もありません。もし路上でシャ〜シャ〜子猫と出くわし保護しなきゃいけない場合はぜひお試しください!お腹さえあれば※誰でもある(笑)キャリーケースなんて要りません!

子ギツネのカブ

てます。最後まで起き上がらずにハチミツをきれいに舐めきりました。この芸はスゴイ!褒めました(笑)

4月、静岡のある駅前です。うづくまる子ギツネを見つけ動物病院で2ヶ月入院させたがこれ以上の入院は無理とのことで、どこか機関に相談しても山に返せと言われたとの話がありました。

《無責任な行政があるある》ですね!てんかん発作様の症状があり足もしつかり立てず目も見えないそう。私は想像しました。おそらく鳥が捕まえたけど落とした。落下事故による頭部強打、それならてんかん発作も目が見えないのも合点がいく。脳神経の障害なら一生続く問題じゃ。話的には生後3、4か月。みんなで知恵を出しながら育ててみるか! 6月12日にその子は来ました。立てるけどフラフラ、確かに視点は合わん:でも食べられるし飲めるし誤嚥しない!これなら先は

明るいね♪野生動物の保護育成することはどの種でも大変ですがギツネは運動能力が高くいろいろ困ります。なので私と田原くんは『ギツネの保護は断る』と決めていました。が脳神経に障害があるならニツクほど困らん:まあ私の決意などコロコロ変わるんです。問題は田原:こいつは頑固でなかなか意見を変えんけど私には作戦がある!勝率100%の♪ある日の夕方、外での作業を終えた田原くんを『来て!来て!』と私が呼んで子ギツネを見せました。すると狙い通り「かわいい!こりゃギツネか?」「すごい!ギツネだとわかるのが素晴らしい!普通の人は思わんよ!」

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。



ケージから出しても起きません。普通、来たばかりの野生動物は人間の前では寝ないのでやっぱり脳神経に問題があるのね。『起きんじやる。高い所から落下して脳に障がいが残ったんよ』「かわいいそうにのう:まあうちなら心配ない!大丈夫じゃ安心せえ」とオヤジ。チョロい♪ホンマに安心して寝とる。この子ギツネの名前は《カブ》になりました。魔法使いサリーちゃん弟のカブからです。これからはどんどんイタズラしちゃえ♪

NPO法人(特定非営利活動法人) **犬猫みなしご救援隊** www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金
▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。